



温かいハーモニーで 感動を届けたい

プロのアカペラ歌手
辻 智美さん

神戸を拠点に全国各地で活動するアカペラグループ「Queen, s Tears Hon ey」のメンバーでボイスパーカッションを担当する辻智美さん。年間200回以上の公演を行ってきたが、新型コロナウイルスの影響により観客の前でアカペラを披露することができなくなった今、4月1日(木)の公演をもって活動を一時休止します。「解散ではなく、あくまでも一時休止なので、コロナが落ち着いて、また皆さんの前でライブができるようになつたらステージに立ちたいです」と話します。

辻さんがアカペラと出会ったのは中学生の頃。「学生がアカペラの実力を競うテレビ番組を見て『かっこいい』と思いました」と振り返ります。大府高校入学後は運動部に入学しましたが、アカペラへの思いを諦めきれず、1カ月で退部し、友人を誘ってアカペラを始めます。「最初は10人くらいで放課後に練習していました。でもみんな部活とかが忙しくて半年後には3人になっていました。続けるためには同好会を立ち上げなきゃ」と思い、必死でメンバーを募集した結果、先輩3人が参加してくれることになり、無事同好会を立ち上げることができました」と当時の苦労を話します。同好会として初めて出場したステージでは、「人前で歌うのは初めてだったのですごく緊張しました。私たちの歌でお客さんが笑顔になってくれたとき、緊張が吹っ飛び、自分自身も楽しくなりました。歌い終えた後の拍手は、今でも忘れられません」と話します。その際にゲストとして出演していたプロのステージ

を目の当たりにし、「言葉にならないぐらい感動しました。自分もいつかはプロとして活躍したい」とプロを目指すようになります。大学入学後もアカペラを続け、名古屋のアカペラ界で有名になるほどの実力を積み上げてきた辻さん。次第にプロになりたいとの思いが募り、「性格上やりたいと思うとやらなきゃ気が済まないんです(笑) 後悔する前にやるだけやってみよう」と悩んだ末に大学を辞め、プロの道に進むことを決めます。デビューに向け技術を磨いてきた辻さんは、一年後現在のグループのメンバーとしてデビューすることになりました。念願のプロとして全国各地のステージに立つてきた辻さんは「お客さんに思いっきり楽しんでもらえるような最高のステージにしようという思いで毎回ステージに立っています。歌だけではなくてトークも磨き、ライブ全体を通して楽しんでもらえるようにしています」とこだわりを話します。

青春の全てをアカペラにささげてきた辻さんは、その魅力について「人の声だけで表現しているので温かさがあって、人を勇気づける力があります」と笑顔で話します。今後については「いったん活動を休止するので、この機会に視野を広げて、新しいことにチャレンジしていきたいです」と目を輝かせます。一つの大きな夢をかなえ、次なる道へと新たに歩み始める辻さん。活動休止前のラストステージは、オンラインでも配信します。ぜひ一度、辻さんが奏でる温かいハーモニーを堪能してください。



▶公式ウェブサイト

cover

今回の表紙は東山小学校付近にある菜の花。いつか東山小学校を背景に入れた菜の花を表紙にしたいと思っていたので、満を持して登場。菜の花を見ると、春の訪れを感じますね。

